

【河川】「第2回 樽川の総合的な治水対策に関する協議会」を実施しました!

平成31年3月20日
山形河川国道事務所

1. 経緯／概要

- 山形河川国道事務所では、樽川で懸念される洪水被害を国・山形県・天童市が一体となって対策方法を検討し、それぞれの役割を確認、分担して対策を行い、被害を未然に防止することを目的として「**第2回 樽川の総合的な治水対策に関する協議会**」を実施しました。

【日 時】 平成31年3月20日(木) 10:00～11:00
【場 所】 天童市総合福祉センター 3階 学習室
【参加機関】 山形河川国道事務所、山形県、天童市
約20名出席

2. 会議メニュー

- 第2回 樽川の総合的な治水対策に関する協議会
 - (1) 第1回協議会以降の経過について
 - (2) 総合的な治水対策の計画及び役割分担について
 - (3) 今後の予定について
 - 1) 樽川排水樋門改築工事及び堤外水路改修工事にかかる用地調査、協議を予定
 - 2) 遊水地(下流左岸)の測量、地質調査、設計を実施し遊水地範囲の確定を予定
 - 3) 洪水避難地図の更新などソフト対策の実施を予定

平成31年3月21日(木) 山形新聞 朝刊2面



樋門を改築、遊水地整備
天童の樽川 国、県、市が治水対策
2013、14年の豪雨時に決壊の危機に見舞われた天童市の樽川を巡り、国土交通省山形河川国道事務所と県、市でつくる協議会が、20日、同市総合福祉センターで会合を開き、治水対策と県、市でつくる協議会は、樽川排水樋門を改築し、24時間雨量が100mmに達した場合でも家屋の浸水被害を防止するのが目的。上流にあるいは下流への設置、排水施設整備の3案から検討した結果、事業費が少なく、自然に洪水ため込むことができる下流左岸への設置案を採用した。ソフト対策では、県管理河川の浸水想定区域見直しに伴い、市が19年度に洪水ハザードマップの更新を行うほか、雨水排水を抑制する対策指導を行う。県が更生橋に設置した水位観測機器は4月に運用を開始。パソコンやスマホで水位をいつでも確認できる。国、県、市の3者は去年7月に協議会を設立。総合的な治水対策について検討し、天童市と改良区との協議や住民、企業への説明会を踏まえ合意形成を図ってきた。国と県は19年度から、樋門の改築・堤外水路改修、遊水地用地調査や設計に入る。(阿部研一)

3. 会議の様子



会議全体の状況



出席者の発言状況



出席者の発言状況



出席者の発言状況